

令和6年度 月隈パークゴルフ場 事業評価シート

【 指定管理者名 東洋緑地建設 】

各項目の評価基準

評価	評価	提案事項	管理水準	評価	総合点
5	10	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。	A	85点以上
4	8	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上)(標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)	B	80点以上85点未満
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。	C	70点以上80点未満
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。	D	70点以上60点未満
1	2	提案事項遂行していない。 (提案事項を遂行していないことに正当な理由がない)	公園管理上著しい失態があるなど、本市が求める管理水準を達していない。	E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1)利用者サービスの向上策	20		18	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができているか。	10	提案事項	10	近隣の障がい者施設と連携した教室を実施し、その結果、利用数が前年度から84％増加した。
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承認(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(2)利用者の適切利用に向けた取組	5		4	
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(3)公園施設の適切・効率的な維持管理	25		24	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができています。	10	提案事項	10	パークゴルフ場としての芝生管理はもとより、園内における樹木を適切に管理することで、日照や風通しの改善につなげ、芝生の育成につなげた。
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安警備計画ができています。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	10	管理水準	10	実施協定書以上の維持管理業務を実施した。
(4)公園の特色を活かした事業展開	15		12	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされているか。	10	提案事項	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(5)運営体制と人材の確保	25		20	
⑩ 配置する予定職員の公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑪ 地域との連携	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。				
⑭ 「歳入の手引き」を理解し、適切に実施しているか。	10	管理水準	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(6)施設の管理運営に要する経費	5		4	
⑮ 施設管理に要する経費の縮減について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び縮減の具体的項目、実施手法はできているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(7)団体の財務的基礎	-	-	-	
⑯ 借入金依存度	-	-	-	
自己資本比率				
(8)社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	5		4	
⑰ 社会的貢献とコンプライアンス、環境への取り組みができています。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(9)その他	-	-	-	
	-	提案事項	-	
評価 総合点			86 /100点	(評価) ・芝生管理や樹木管理などきめ細やかな維持管理が行えており、パークゴルフ場として利用者からの満足度が高いことが評価できる。 ・利用者数が年々減少する中でも、障がい者施設と連携した教室を実施することにより、県外からの利用が増加するなど、新たな利用先を開拓していることが評価できる。
				(課題) ・施設の早期解放など新規利用者を開拓できるような取り組みを行い、利用者数増加に繋げることが必要である。